

9/17 住民集会(100名)に続き、10月7日シンポジウムに130名参加

シンポジウム『リニア新幹線は必要か?』(主催：リニア新幹線を考える麻生の会、共催：同宮前の会および東京・神奈川連絡会)は10月7日午後6時、麻生市民館で開催され、麻生区や宮前区などから130人が参加した。「リニア」という言葉は聞いたことはあるが、それがまさか自分たちが住む町の地下深く超高速で走る(飛ぶ?)と想像もしなかった人も多い。しかも、巨大土木工事は自然を破壊し、開通後列車は乗客や沿線住民の健康を蝕む電磁波をまき散らしながら走るなんて----



リニア・シンポジウムに参加した市民

JR 東海へ「説明会開催」の要請文採択



東百合丘でのボーリング調査

シンポジウムは、まず主催する「リニア・麻生の会」の伊藤清美代表が計画の概要、水質、大気、動植物など JR 東海による環境影響評価調査地点などを映像、地図を交えて説明した。続いて、NPO 法人市民科学研究所の上田昌文さんが講演し、「環境に配慮した路線位置を決めるために現地調査するのではなく、路線位置を決定してから環境影響調査をしようとしている」と話すと、参加者は大きくうなずきながら聞き入った。次に、JR 東海の社員でもある「JR 東海労組」の中央執行委員長、淵上利和さんが採算性など山積する疑問点を例示しながら「JR 東海は誠意を持って住民に説明を」と訴えると会場から大きな賛同の拍手が起きた。淵上さんは新幹線の運転士をしながら、会社

側と無謀とも言えるリニア案見直しを求めて果敢に交渉を続けている。報告のしんがりとして「リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会」の天野捷一代表がネット配信されるカメラに向かって「撤回、白紙、中止、なんでもいいからリニア計画はなかったことにしてほしい」と訴えた。質疑応答では、会場から「リニア問題が、メディアを含めて、なぜ表に出ないのか」という声も挙がった。最後に JR 東海社長に宛てた「今日の参加者一同の名をもって、住民説明会を速やかに開催するよう求める」との要請書を読み上げてシンポジウムの幕を閉じた。

10月19日 JR 東海、川崎市(市長、市議員等)へ「住民説明会開催」を要請

リニア新幹線を考える麻生・宮前の会は、品川の JR 東海中央新幹線推進本部を訪れ、東京と神奈川の両環境保全事務所長らに7日のシンポジウムで採択された「住民説明会開催の要請書」(裏面参照)を手渡した。「考える会」は、既に JR 東海が相模原市や東京で開催した通り一遍、一方的な説明会でなく、リニア通過地と目される麻生、宮前など区単位の住民集会、勉強会開催を強く求めた。特に、目前でボーリングなどが行われ、住民の不安が日ごとに増しているため、早急に開くよう要求。これに対し、JR 側は「約束は出来ないが、行政側と相談の上、開催しないでもない」と答えた。同日午後、川崎市にも説明会の開催を要請し、市から「仲介する」との回答を得た。

10月22日 JR 東海(品川)の社員に「住民の声を聞け」と訴える

リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会、麻生、宮前、相模原各会のメンバー8人が、品川区大井の JR 東海・新幹線車両基地に通勤する社員らに向け、午前7時からビラ配りをした。JR 品川駅港南口には同社、関連会社社員の送迎バス乗り場があり、5分間隔で発車するバスを待つ人が並ぶ。私たち会員が手渡すビラに予想外の反応を示し、行列時やバス車内でビラを読む多くの人の姿が見られた。JR 東海の東京の拠点・品川における社員らへの直接の呼び掛けは初めてで、2弾、3弾と継続する予定だ。

10月19日 JR東海へ「住民説明会開催」の要請書手渡す

10月19日（金）10:00～ リニア麻生・宮前の会の代表がJR東海品川ビルにあるリニア中央新幹線推進本部環境保全事務所を訪問し、10月7日シンポジウムで採択された下記の要請書を手渡しました。

東海旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 山田佳臣 様

住民説明会開催の要請書

本日私たちは川崎市麻生市民館において「リニア新幹線を考えるシンポジウム」を開催しました。本集會に参加した沿線住民一同は貴社に対し、住民への説明会開催を下記の通り要請いたします。

記

貴社は昨年10月麻生市民館において、リニア中央新幹線環境影響評価方法書についての説明会を開催されました。説明会での住民の質問・要望やその後のパブリックコメントでも指摘されているように、方法書説明会の前に「リニア新幹線の建設計画の技術面も含めた全貌について説明会を開催すべき」との要望が出されました。しかし、1年経過後の今に至るも麻生区の沿線住民に対して十分な情報公開が行われず、納得のいく説明会が持たれていません。

現在ボーリングによる地質・水位調査、大気調査、動植物調査などの環境影響評価調査が麻生区、宮前区、中原区など各地で行われており、極めて遺憾なことと言わざるを得ません。私たち市民グループは環境調査地点周辺の住民、町会、自治会に呼びかけ、9月17日に住民学習集會を行い多くの方々の参加を得ました。これに続けて、今回のシンポジウム開催に至り、住民の関心が更に高まっております。

今回の建設は住民及び環境に多大な影響を及ぼすものであり、沿線住民として不安を禁じえません。

以上の点から、早急に地元での説明会開催を要望いたします。開催場所・日時については川崎市とも相談のうえ今後双方で話し合っ決めていきたいと考えます。宜しく願いいたします。

以上

写) 川崎市まちづくり局長経由 川崎市長 様

写) 川崎市議会議長 様

写) 麻生区・宮前区選出市議會議員 様

写) 麻生区・宮前区町会連合會會長 様

写) 神奈川県県土整備局環境共生都市部交通企画課

リニア中央新幹線グループリーダー 塚本周一郎 様

平成24年10月7日

リニア新幹線を考えるシンポジウム参加者一同

リニア新幹線を考える麻生の会

代表世話人 伊藤 清美

リニア新幹線を考える宮前の会

代表 山本太三雄